

柿の種吹きとばし大会



種を吹きとばす参加者

11月23日、農業者トレーニン
グセンターで第19回全国柿の種
吹きとばし大会が行われ、延べ
620人が参加しました。

今年は優勝賞品にハワイ旅行
が復活したことで、去年の2倍
近い人出となり、参加者は4部
門に分かれ、力を込めて種を吹
きとばしました。メンズ部門で
優勝した山本浩さん（山口県岩
国市）は、「優勝できてうれしい
です。5、6回出場しており、
毎回上位に入ろうと頑張ってい
ましたが、これまでは最高10位
でした。」と喜びを話されました。

やまと園生がグリコで職業体験

外で働く機会を得ることが難
しい西部やまと園（阿賀）の園
生に「仕事」を体験してほしい
と、鳥取グリコ株式会社（倭）で
園生の職業体験が行われていま
す。体験は昨年10月からも行わ
れており、今年は10、11月で15
日間程度、園生がクリームシユ
チューの箱におまけのミニ絵本
を貼り付ける作業を行っていま
す。受入の鳥取グリコは「丁寧
にしっかりとやっていただいで
います」と話され、園生も体験
について「楽しいですよ」と話
されました。



商品を手取るやまと園生と園職員

町内で話芸を楽しむ



桂小米さん

11月15日、竹内商店（倭）で
3人の噺家、2人のアマチュア
を招いて落語会が行われました。
以前は半年に1回、定期的に
開催されていましたが、近年は
休止状態で、今回が7年振りの
復活となりました。来場した女
性は「身近なところで落語を楽
しめる良い企画。若い方にも参
加してほしい」と巧みな話芸に
大満足でした。高座上がった
噺家の桂小米さん（南部町出身）
は「7年振りで緊張しました。
長く続けていけたら良いなと思
います」と話されました。

江原新そば祭

新そばを楽しんでもらおうと、
江原そばの会（代表板勉さん）
が11月24日、江原集会所で秋の
江原新そば祭を開きました。
祭は転作奨励で栽培が進んだ
そばの需要を高めようと、昨年
から開催されています。
会場ではそば打ちが実演され、
打ち立ての薫り高い新そばが約
100人に振舞われました。
そばを味わった女性2人は
「とてもおいしかった。おだし
も、自然薯もバランスがとれて
いて、のどごしもよかったです」と
満足そうでした。



そばを楽しむ参加者

ハンリム大学教授訪町

南部町でホームステイの受け
入れを行っている、韓国ハンリ
ム大学の安東奎教授と齊藤明美
教授が、10月31日に南部町役場
を訪れました。

安教授は「先日、偶然空港で
帰国を見送られている学生達を
見かけました。ホストファミリー
と抱き合って別れを惜しんで
おり、最初は日本人同士だと思
い、学生達に声をかけられるま
で気付きませんでした。南部町
では積極的に学生達を受け入れ
てもらっているのだと感じまし
た」と感謝されていました。



担当者らと話す教授（奥2人）

受章おめでと〜ございます



瑞宝双光章を受章された桑名勇さん

11月3日付で秋の叙勲受章者
が発表され、南部町からは元警
視長の桑名勇さん（東町）が瑞
宝双光章を受章されました。

桑名さんは、38年間にわたっ
て鳥取県警察に勤務し、地域住
民の安全を守るため尽力され、
交通部長としてわかとり国体の
警護にもあたられました。受章
について桑名さんは「個人の
業績でもらったものではなく、
多くの方に支えられ、力を貸し
て頂いたことが今回の受章に繋
がったのだと感じます」と話さ
れました。

監査功労者表彰受賞

長年に渡って町の監査委員に
在職し、行政の効率化と公正の
確保に貢献した功績を認められ、
赤井繁美さん（監査委員・田住）
と田貝國浩さん（元会見町監査
委員・金田）が、地方自治法施
行60周年を記念した総務大臣表
彰、宇田川弘さん（監査委員・
天萬）が全国町村監査委員協
会長表彰をそれぞれ受賞されま
した。おめでと〜ございます。



田貝さん

宇田川さんと赤井さん

日野川への想いを語る会



挨拶をする坂本町長

11月21日、プラザ西伯で第13
回日野川への想いを語る会が開
催されました。

会は、日野川流域の活性と融
和を目的に発足され、毎年テー
マを決めて意見交換などを行っ
ています。今回は永瀬正治さん
の特別講演も行われ、永瀬さん
は講演で「私たちは川を身近に
持ち、その恩恵を受けながら、
これまでほとんど川を意識せず
にいました。将来に向かって日
野川の恵みを残すために活動し
ていかなくはけません」と
話されました。